

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2017.5

vol. 133

幹部就任のご挨拶

事務部長：森 幸一



この度、4月1日付で事務部長の職を拝命しました。出身は鹿児島県始良市（旧始良町）であり、前任地は、指宿医療センターです。また鹿児島県での勤務も南九州病院、鹿児島医療センターの前身国立南九州中央病院で勤務させて頂きました。鹿児島医療センターの勤務は、南九州中央病院を含めると2度目の勤務となります。1回目の勤務当時は、鹿児島県庁が鴨池に移転した直後でした。今は県庁の跡地に、かごしま県民交流センターがあり、通勤時桜の花をながめながら時の移り変わりを感じています。

昨今、地域包括システムの構築、地域ごとにバランスのとれた医療機能の分化・連携が求められ医療を取り巻く環境が変わりつつあり、医療機関にとっては重要な時期です。

鹿児島医療センターは、基幹型臨床研修病院、地域がん診療連携拠点病院および地域医療支援病院などの指定を受けています。

特に地域医療支援病院の要件として、紹介患者に対する医療の提供、施設・設備等の共同利用、救急医療の提供及び地域の医療従事者に対する研修があります。事務部門として医療部門で計画される研修に積極的に参画し、地域の医療従事者にとって研修の場が提供できるよう努力して参ります。

また、連携は益々重要となっていますので、連携医の先生方と顔の見える関係を築ければと思います。微力ながら精一杯頑張らせて参りますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

看護部長：木佐貫 涼子



4月1日付で南九州病院から配置換えで参りました木佐貫と申します。昭和55年4月に鹿児島病院手術室に採用され、昭和56年7月、開院時から5年間当院に勤務させて頂きました。新人時代を温かく育てていただいた当院で再び勤務できますことを大変感謝しています。当院は、脳卒中・がん・循環器を主とした診療を展開し玄関前には心臓病・脳卒中救急センターと掲げています。ハイブリッド手術室も整備され今後は更に高度な医療が期待されています。諸先輩方や職員の皆様のご努力によって鹿児島医療センターが発展していることを目の当たりにして身が引きしまる思いです。搬送される救急車のサイレンの音を聞きながら、「命の大切さ、医療への期待」を感じています。当院看護部の理念は『患者様の目線に立って「安心の看護」「信頼される看護」「責任ある看護」の提供を目指します』です。患者様やご家族が求めている医療・看護に関心を寄せ、高い倫理観を持って一人ひとりが理念に沿った看護を実践することが求められます。これまでに取り組まれてきたことをしっかり引き継ぎ、当院の看護職として必要な能力を育て育む環境を整え高め合うチーム作りに努めていきたいと考えています。今年度は外来棟の増築、2月には2回目の病院機能評価受審等が予定されています。力合わせ心合わせて鹿児島医療センター一丸となって目標を達成していきたいと思っております。治療後に患者様方が住みなれた地域で安心して生活し続けられるために今後更に地域の皆様との連携が重要になります。早期に退院後の生活を見据えた患者様・ご家族を中心にした連携を強めていく努力とともに病院訪問等を積極的に行い、看護の立場からしっかり支えるために取り組んでいきたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

入学式を終えて

独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校

私たち26回生78名は、看護学生になるという大きな目標を胸に、入学式を迎えました。多くの方々のご臨席を賜りまして、盛大に式を挙げていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。入学して数日が経ち、初めは緊張と不安でいっぱいだった私たちですが、同じ夢を持つ仲間ができたことに喜びを感じ、徐々に緊張が解け、わくわくとした気持ちが大きくなってきました。

入学後のオリエンテーションでは、学校の概要やカリキュラム、学校生活について教えていただきました。義務教育を終えて看護学生となった今、これまで以上に自分の行動に責任を持たなければならないという自覚が芽生え、

節度ある態度で学習に臨もうという思いが強くなりました。人として、看護職者を目指すものとして日々の事象に責任・誠意をもって取り組み、その姿勢を継続していきたいと思いました。

入学して1週間後には、学生間の交流を深める目的で新入生セミナーがありました。様々なワークを通して、まだ話をしたことがない学生とも交流を図ることができ3年間切磋琢磨する仲間づくりができました。また、様々な考え方や価値観があることを知ることができ、積極的に多くの人との交流を図り、違う意見に触れ視野を広げていきたいと思いました。

この3年間、本校の基本理念でもある「人間愛と探究心を育み、ヒューマンケアの実践者」となれるよう、十分な知識と技術の習得に努め、仲間と共に協力し、励ましあいながら、日々精進していきたいと思えます。

(文責：鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校1年生 [26回生] 神川 桃香)



新入生セミナーを終えて

1年生は平成29年4月18日に「学生間の交流を深めることができる」を目的に新入生セミナーを行いました。吉野にある鹿児島市立少年自然の家にて、人間関係学の講師である上滝純一先生をお迎えして行いました。

入学して一週間と日が浅く、まだ話をしたことがない学生もいる状況でしたが様々なワークを通して学生間の親睦を深める機会となりました。

双六ゲームでは、徐々に質問内容が深くなり、自分のことを仲間に話すことや、仲間の話に耳を傾ける姿がありました。また、グループワークにて様々な考え方がわかり、新たな視点をもつことができていました。

セミナーを通して、「クラスの仲が深まり学校生活が楽しみになった」や「個々の違いを理解しこれからの看護の勉強に役に立つと感じた」「悩みがあれば言葉にして仲間と乗り越えていきたい」などの意見が聞かれました。看護師となる第一歩を、教員全体で支援していきたいと思えます。

(文責：看護学校教員 濱崎 友実)



新任紹介

泌尿器科

日高 英雄



4月から勤務することとなりました泌尿器科の日高英雄と申します。13年前にも勤務歴があり、今回で2度目となります。前回とは病院内のシステムが大きく変わっており、非常に働きやすい環境で大変ありがたいと感じています。泌尿器科領域以外にも血液浄化療法に携わりますので何かありましたら当方までご連絡いただければと存じます。患者様のために全力で頑張っていこうと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第一循環器内科

福永 研吾



4月より第一循環器科で勤務することとなりました福永研吾と申します。鹿児島大学を卒業し、平成15年に鹿児島大学病院第一内科に入局し県内の関連病院で研修してまいりました。今回、鹿児島医療センターは初めての勤務となります。電子カルテや院内の場所など不慣れな事ばかりで皆様にはばらくの間はご迷惑をおかけすると思いますが、なるべく早く慣れて治療の役に立てるように頑張りたいと考えております。よろしくお願いいたします。

消化器内科

稲津 秀穂



4月から勤務させていただくこととなりました、消化器内科の稲津秀穂と申します。出身は帝京大学で、初期臨床研修を埼玉で行い、その後地元である鹿児島に帰ってまいりました。鹿児島大学消化器内科に入局後、今回が2ヶ所目の赴任先となります。消化器内科の他の先生方と異なり、まだまだ経験も浅く、未熟者であるため、職員の方々にご迷惑を掛けることも多々あると思っております。一所懸命頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。

糖尿病内分泌内科

久保 智



初めまして。2017年4月1日より糖尿病内分泌科にて赴任しました久保 智です。鹿児島大学旧第一内科に2003年に入局し、一般内科を中心にこれまで様々な場所に赴任しました。自分がメタボリック症候群になったのをきっかけに2013年より糖尿病・内分泌科に入局しました。糖尿病を専門にしておりますが、来年は内分泌専門医を取れるように郡山先生や時任先生の指導のもと勉強をしていきたいと思っております。また、酒好きな自分としては、天文館周辺での仕事は久しぶりで、糖尿病にならない範囲で夜の生活も満喫しようと思っております。

脳血管内科

重島 裕也



4月から勤務することとなりました脳血管内科の重島裕也です。2008年から当院で2年間の初期研修をさせて頂きました。その後大阪の国立循環器病研究センターと仙台の広南病院で主にカテーテル研修を行ってきました。7年振りの鹿児島ですが少しでも地域に貢献出来るよう頑張ります。よろしくお願い致します。

心臓血管外科

藏元 慎也



4月より心臓血管外科で勤務させていただいている藏元慎也と申します。当院では学生時代に実習を数日させていただいたことはありますが、勤務させていただくのは今回が初めてとなります。システマ的な面でも慣れず、他科の先生方、いろいろなスタッフの方々へはご迷惑をおかしているとは思いますが、少しでも早く慣れることが出来るように頑張ります。また、まだまだ若輩者で診療の面でも至らぬ部分も多いかもしれませんが、多くのことを学び、成長させていただいて、この病院の一員として力になればと思っております。ご指導の程、何卒よろしくお願い致します。

泌尿器科

上野 貴大



初めまして。4月から勤務することとなりました、泌尿器科の上野と申します。鹿児島大学卒業後は2年間福岡県で研修し、その後、鹿児島大学泌尿器科に入局しました。これまで鹿児島大学病院や県立大病院などに勤務しておりましたがこの度、こちらでお世話になることになりました。少しでも多くの患者様のために精一杯頑張らせていただきます。泌尿器系疾患でお困りのことがありましたら気軽にお声かけください。よろしくお願い致します。

小児科

関 俊二



2017年4月より小児科で勤務しております。出身は神奈川県で、薬学部の大学を出た後学士編入で鹿児島大学医学部に入学しました。そのまま縁あってこちらに家を建て、骨を埋めることになりました。鹿児島医療センターは以前より働きたかった病院なので、通勤には50分程度かかりますが、毎日が楽しいです。何かご迷惑をお掛けすることもありかもしれませんが、少しでもお力になれるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

婦人科

松本 純



今年で、医師になって10年目の節目の年となりました。その機に移動となったことに、何にかしら運命的なものを感じております。また初心に戻るつもりで頑張ります。至らないことも多いと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

脳血管内科 レジデント

是枝 め衣



いつもお世話になっております。研修医の時に脳卒中の患者様を担当したことがきっかけで、脳卒中診療に携わりたいと思うようになり、鹿児島大学神経内科に4月より入局しました。2年間の研修時代を過ごした当院で脳血管内科のレジデントとして働けることになり、大変嬉しく思っております。慣れた病院とはいえ、今まで以上に責任を感じる場面も多く、日々周りの人に支えられながら仕事をさせていただいております。お世話になっている当院に、少しでも早く恩返しできるように、初心を忘れず、日々精進していきたいと思っております。これからも引き続き、ご指導の程よろしくお願い致します。

第一循環器 レジデント

立志 公史郎



4月から鹿児島大学病院心臓血管・高血圧内科より第一循環器内科に配属されました立志（たてし）公史郎と申します。循環器内科レジデントとして赴任となります。鹿児島医療センターで働くのは始めてで、日々多くのことを学びながら診療にあたっております。生まれも育ちも鹿児島出身なので、地元鹿児島島の医療の一端を早く担えるよう、また患者さんに寄り添い、笑顔にしていけるように尽力して参りますので、よろしくお願い致します。



出前講座 のご案内

鹿児島医療センターでは、地域施設職員の皆さまとの交流を通し、連携の強化と職員の皆さまの知識や技術の向上に繋がるお手伝いをしていきたいと考えております。
そこで、当院では認定看護師による出前講座をお受けしております。出前講座の内容は下記のとおりです。是非ご活用ください。

講師	講座内容	時間	実施時期	対応可能曜日 時間13時～18時
感染管理	ノロウイルス対策	要望に応じて	11月～3月	月・金曜日
	インフルエンザ対策		11月～3月	
	標準予防策		時期問わず	
集中ケア	加齢による身体への影響	45分	時期問わず	金曜日
	高齢者の救急医療の特徴			
	様々な症状 ①発熱 ②便秘 ③転倒 ④呼吸苦			
脳卒中リハビリテーション看護	脳卒中発症時の対応	要望に応じて	時期問わず	火曜日
	脳卒中予防			
認知症看護	認知症患者への対応について	60分	時間問わず	月曜日
糖尿病看護	糖尿病とフットケア	30分	時期問わず	火曜日
がん化学療法看護	抗がん剤治療を受ける患者の日常生活指導	要望に応じて	時期問わず	火曜日
	有害事象について			
がん性疼痛看護	疼痛評価について	45分	時間問わず	金曜日
緩和ケア	緩和ケアについて	60分	時間問わず	月曜日
	エンゼルケア			

問い合わせ・申し込み先

鹿児島医療センター 看護部 (担当者：水流)
 TEL 099-223-1151 (月～金：9時～16時)
 FAX 099-226-9246
 Mail n-tsuru@kagomc2.hosp.go.jp

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
 代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・谷口・田上・吉永・椎原・迫田・中田・吉留・菊永・櫻木・田辺・宮崎

【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・上妻・久保

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

